

報道関係者各位



海外の大規模災害派遣への備え！



国際消防救助隊(IRT)合同訓練 九州の救助スペシャリストが北九州市に集う！

九州地区の国際消防救助隊（IRT）隊員の知識及び技術の向上や、災害現場における強靱・不屈な精神力を養うため、国際消防救助隊合同訓練を実施します。（4年ぶりの実施）

訓練の特徴

- ▶ トルコ地震など**海外**で発生した**大規模災害への派遣**に備える
- ▶ 地震災害時に必要となる**最新の都市型搜索救助技術**を習得
- ▶ **医師等の関係機関**と合同で訓練を行い**連携強化**に努める



国際消防救助隊とは？

国際消防救助隊（IRT）は、昭和60年のメキシコやコロンビア等での大規模災害をきっかけに昭和61年4月に発足し、昭和62年に外務省に国際緊急援助隊（JDR）が創設され、その中の救助部門として組織されています。

海外において地震等の大規模災害が発生した場合、被災国政府の要請に応じて出動し、救助活動を行います。

現在、全国 77 消防本部 599 人の救助隊員が登録しており、九州地区では9消防本部の64人（本市消防局11人）が登録されています。

■日時・場所

令和5年11月26日（日）13時15分～21時30分まで
令和5年11月27日（月）6時00分～13時00分まで
北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）

■訓練概要

4つの訓練サイトを作成し、4つの小隊がそれぞれ異なる内容を実施します。
（別紙をご覧ください。）

■参加機関

北九州市消防局、福岡市消防局、佐賀広域消防局、長崎市消防局、佐世保市消防局、熊本市消防局、大分市消防局、宮崎市消防局、鹿児島市消防局、JDR救助チーム医療班（外務省）、JDR救助チーム構造評価専門家（外務省）、JDR救助チーム救助技術アドバイザー（外務省）**9消防本部・3機関 計100人程度**

■主催

北九州市消防局

■安全対策等

安全な位置から撮影していただくよう、撮影場所は適宜ご案内します。

■問い合わせ先

消防局警防課救助係 担当 田中・桂 電話番号：093-582-3817

第21回九州地区国際消防救助隊合同訓練 概要

1 訓練1日目【令和5年11月26日（日）】

時 間	項 目	備 考
13:15～13:30	・開会式	【場所】 主塔西側グラウンド
13:30～14:45	・ASR2（説明、振返り含む）	・全体訓練
14:45～15:00	・休憩	
15:00～18:00	第一訓練	・サイト別訓練
18:00～18:30	・休憩	
18:30～21:30	第二訓練	・サイト別訓練

2 訓練2日目【令和5年11月27日（月）】

時 間	項 目	備 考
6:00～9:00	第三訓練	・サイト別訓練
9:00～9:30	・休憩	
9:30～12:30	第四訓練	・サイト別訓練
12:30～12:45	・休憩	
12:45～13:00	・閉会式	【場所】 主塔西側グラウンド

3 訓練概要・・・次ページ参照

(1) 全体訓練

ASR2 (Assessment Search and Rescue level2)

被災区域で生存者救出の可能性のある活動現場を定めるため、情報収集を行う活動

(2) サイト別訓練（4つの小隊がそれぞれ各訓練サイトにおいて①、②、③、④の訓練を実施）

① ショアリング

余震等による更なる倒壊や崩壊等の危険が存在する座屈した建物等において、安全を確保しながら救助活動を実施するために、建物の外部や内部、窓やドア等の開口部に支柱等を設定し、応急（緊急）的な建物の安定化を図る技術

② ブリーチング

地震等で倒壊した建物において、開口部からの進入や、重量物を排除して進入することができない場合に、外壁や内壁、床、天井を切断・掘削し、開口部を設定する技術

③ ロープレスキュー

倒壊した建物の高所に取り残された要救助者を救出するための技術

④ CSRМ (Confined Space Rescue/Medicine 閉鎖空間での救助・医療活動)

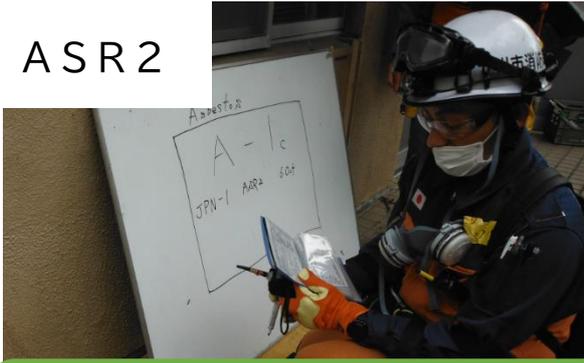
倒壊建物等の狭隘空間内における要救助者を救出する技術

救助と医療の連携活動であり、救命率を向上させる重要な活動

訓練概要

1 全体訓練

ASR2



- ・生存者救出の可能のある活動場所を特定し、救出するために必要な情報収集を行う活動



2 サイト別訓練

① ショアリング



- ・要救助者を安全に救出するため、木材を使用し倒壊建物の安定化を図る。

② ブリーチング



- ・コンクリートの構造物を破壊し、その先の要救助者を救出する。

③ ロープレスキュー



- ・建物の高所に取り残された要救助者を、ロープを使用し救出する。

④ CSR M



- ・倒壊建物の狭い空間で、がれきに挟まれている要救助者を救出する。